

## 千葉県水道局中期経営計画 2011 の概要

## 第1章 計画の趣旨及び性格

## 第2章 経営基本構想

## 第1節 県営水道の今日の姿と目指す方向

〔県営水道の今日の姿〕  
 ～300万人の暮らしと活力を支える水の大動脈～  
 ～全国屈指の技術力で安全・良質なおいしい水づくり～

〔目指す方向〕

—時代の流れ—

高度経済成長期 ⇒ バブル崩壊、景気低迷の長期化、少子高齢社会の到来など ⇒ ⇒  
 「量から質」へ、社会経済構造の転換・再構築 ⇒ ⇒ ⇒ 安定の「成熟型社会」へ

～成熟型社会にふさわしい持続可能なライフライン～

- ◎施設投資の最適化、浄水処理の高度化で安全・良質なおいしい水の安定供給
- ◎安定した経営基盤を持ち、行き届いたサービスと万全の危機管理でお客様の信頼と満足を獲得
- ◎環境施策を重視した経営の推進、県内水道の発展への貢献

## 第2節 主要経営課題

- 1 水源の確保、水道施設の大規模更新期の到来への対応
- 2 お客様サービスの一層の推進、次世代職員への技術の継承
- 3 危機管理体制の一層の充実
- 4 環境対策への継続的な取組
- 5 人材の確保と育成、経営体質の強化

## 第3節 経営の基本方針と5か年の基本目標 (目指す方向と経営課題を踏まえて)

## 経営の基本方針

安全で良質なおいしい水を将来にわたってお客様に安定的に供給できるよう、経営課題や社会経済情勢の変化に適切に対応し、目指す方向に着実に前進していきます。

## 5か年の基本目標

- ・基本目標1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道
- ・基本目標2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道
- ・基本目標3 地震等の非常時に強い水道
- ・基本目標4 環境に優しい水道
- ・基本目標5 安定した経営を持続できる水道

## 第3章 実施計画

## 5か年の主要施策と主な取組

## 基本目標1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道

- ・安定給水の確保 (浄・給水場の設備等の更新、管路の更新・整備 など)
- ・安全で良質なおいしい水の供給 (高度浄水処理の導入、おいしい水づくりの推進 など)

## 基本目標2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道

- ・お客様サービスの推進 (広聴・広報の充実、新たな料金収納形態の検討 など)
- ・次世代への技術の継承 (実践的な技術研修の実施、体験型研修施設の整備検討 など)

## 基本目標3 地震等の非常時に強い水道

- ・危機管理体制の強化 (応急活動体制の強化・拡充、緊急時における初期活動体制の強化 など)
- ・緊急時における水融通体制の確保 (浄・給水場間バックアップ体制の整備、水道用水供給団体との水融通体制の確保 など)

## 基本目標4 環境に優しい水道

- ・環境対策の推進 (省エネルギー化の推進、資源リサイクルの推進 など)

## 基本目標5 安定した経営を持続できる水道

- ・人材の確保と育成 (計画的な人材確保、職員の育成と能力開発 など)
- ・業務能率の向上 (能率的な業務運営の確保、情報化の推進 など)
- ・経営体質の強化 (品質確保に留意したコスト削減、収益の安定性の確保と財務改善、経営形態等に関する調査研究 など)

## 第4章 計画の推進に当たって

## 実施体制

## 第1節 チームスピリットの発揮

- お客様をはじめ、水道関係に携わる研究機関、大学、事業組合などとの協働
- 他事業体等との情報交換の緊密化を図るとともに、県内水道の統合・広域化に向けた取組に参画
- 国際貢献の延長線上にある海外での水道事業展開の可能性について、国や他事業体の情報収集と併せて検討

## 第2節 財政収支見通し

- 施設整備等の事業費1, 391億円
- 5年間で企業債残高を165億円縮減

## 第3節 計画の進行管理

- 進行管理は内部評価と、外部有識者による第三者評価の二段階で実施。評価の結果をPDCAサイクルに反映
- 施策単位の成果目標と、施策を支える個別の取組(又は事業)の達成目標を明確化

### 第3章 実施計画(5か年の主要施策と主な取組)

この実施計画は、5つの基本目標の達成に向けて10の主要施策と30の主な取組を体系化したものであり、計画の推進に当たっては、さらに多面的な視点からの施策や取組を織り込み、県営水道の経営を総合的に推進していこうとするものです。

#### 計画の体系

基本目標	主要施策	主な取組	
1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道	(1)安定給水の確保	① 水源の安定化	
		② 水道施設の長期的な整備方針の策定	
		③ 浄・給水場の設備等の更新	
		④ 管路の更新・整備	
	(2)安全で良質なおいしい水の供給	① 高度浄水処理システムの導入	
		② おいしい水づくりの推進	
2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道	(3)お客様サービスの推進	① 広聴・広報の充実	
		② 「お客様の声」の事業運営への活用	
		③ 接客マナーの向上	
		④ 新たな料金収納形態の検討	
	(4)次世代への技術の継承	① 実践的な技術研修の実施	
		② 体験型研修施設の整備検討	
		3 地震等の非常時に強い水道	① 応急活動体制の強化・拡充
			② 緊急時における初期活動体制の強化
③ 給水区域内11市との連携強化			
(6)緊急時における水融通体制の確保	① 浄・給水場間バックアップ体制の整備		
	② 水道用水供給事業体との水融通体制の確保		
4 環境に優しい水道	(7)環境対策の推進		① 省エネルギー化の推進
		② 再生可能エネルギーの活用	
		③ 資源リサイクルの推進	
5 安定した経営を持続できる水道	(8)人材の確保と育成	① 計画的な人材確保	
		② 職員の育成と能力開発	
	(9)業務能率の向上	① 能率的な業務運営の確保	
		② 情報化の推進	
		③ 情報の適正管理	
	(10)経営体質の強化	① 品質確保に留意したコスト削減	
		② 収益の安定性の確保と財務改善	
		③ 経営形態等に関する調査研究	
		④ 経営分析の活用	

## ② おいしい水づくりの推進

お客様に、よりおいしい水を安心して利用していただくため、水源から蛇口に至るまでの間の技術的な取組やキャンペーン活動等の事業を定めた「おいしい水づくり計画（H18～27年度）」に基づき、ハード・ソフトの両面からおいしい水づくりを推進していきます。

### ア 残留塩素の低減化

配水系統別に注入塩素量を調節することができ、末端蛇口での残留塩素の低減効果が得られる「塩素多点注入方式」を浄・給水場に導入し、塩素臭の少ないおいしい水を供給していきます。

導入の順位については、費用対効果を勘案して事業効果の高い施設を優先するものとし、計画期間内に、船橋給水場、園生給水場及び誉田給水場に導入していきます。

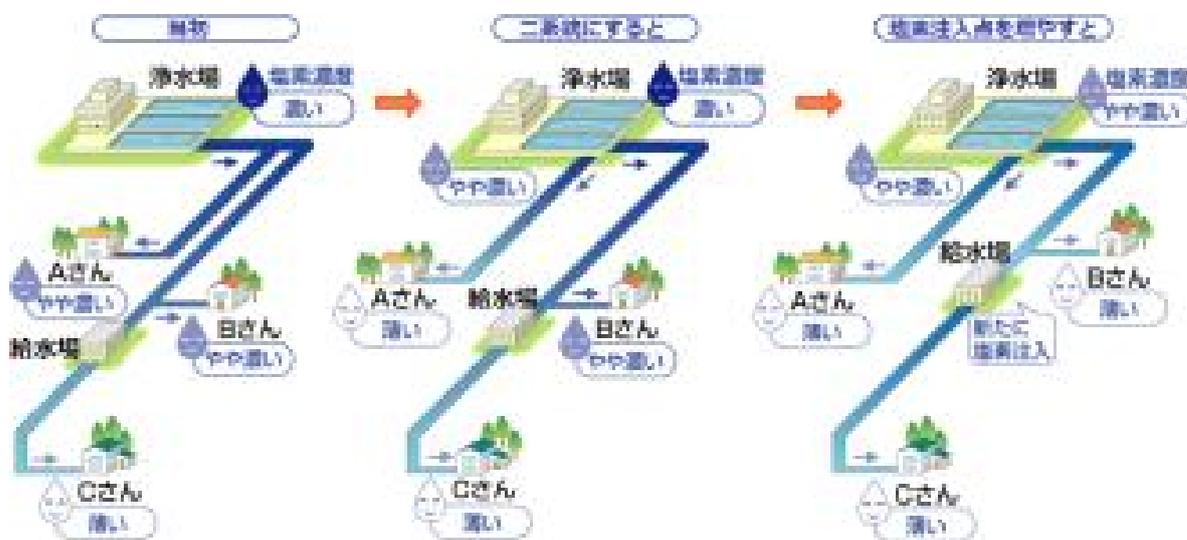
#### <主要事業>

##### ○ 誉田給水場塩素多点注入設備の設置

（設計：平成23年度、工事：平成25年度～）

##### ○ 水道出前講座、ウォーターメイト制度、おいしい水づくり推進懇話会等、お客様との協働によるおいしい水づくり など

塩素多点注入方式による残留塩素低減化のイメージ



## イ 管路の適正な維持管理

長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、管路状態の巡回確認やバルブ等の設備の保守点検を定期的に行うとともに、計画的な管内洗浄を実施して赤濁水等の発生を防ぎ、安全で清浄なおいしい水を供給していきます。

### <主要事業>

- 送・配水管の管内洗浄 洗浄延長 1,000km/年 など

#### 計画的に実施している管路内部の洗浄



配水管に設置されている消火栓から勢いよく水を吐出させ、管の内部をきれいな状態に保ちます。

## ウ 貯水槽水道の巡回サービスと直結給水への転換促進

集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、無料巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水への転換を促進し、安全で良質なおいしい水の普及拡大に努めていきます。

### <主要事業>

- 貯水槽水道の巡回サービスの実施
- 直結給水への転換促進 など

貯水槽巡回サービス車



貯水槽の点検を無料で実施



直結給水と貯水槽水道の概要

